

意見書案第10号

小中学校への冷房設備の早期整備について

別紙のとおり意見書案を提出する。

令和5年9月15日提出

提出者議員	豊岡義博
賛成者議員	石黒武美
〃	木村光宏
〃	武田貞行
〃	大和勝
〃	猪口満雅
〃	山田靖廣
〃	松本一郎

小中学校への冷房設備の早期整備についての意見書

令和5年北海道の夏は、かつて経験したことのない猛暑に見舞われ、8月24日には道内全域に熱中症警戒アラートが発出されるなど、真夏日が40日以上連続した。

岩見沢市においても、7月上旬より気温が30度を上回ることや、湿度の高い日が続き、8月25日には最高気温35.7度を記録した。本来冷涼な気候の北海道にあって、まさに異常気象・異常事態である。

道内の各学校では下校時間の繰上げや、暑さによる臨時休校といった処置をとった状況で、当市においても各学校でそれぞれ数日にわたり、下校時間の繰上げなどの措置を取らざるを得ない、命に関わる極めて危険な状況となっており、9月時点でもいまだに高温傾向である。

文部科学省の調査によると、令和4年9月1日時点で、全国の小中学校普通教室の冷房設置率が95.7%であるのに対し、北海道は16.5%と大変低い状況となっている。

よって、国においては、子供たちの命を守るために、関連施設の冷房設備整備に十分な財源確保と補助制度の拡充について、特段の措置を講ずるよう、強く求める。

記

- 1 小中学校等、関連施設冷房設備整備に対し、学校施設環境改善交付金の予算確保及び補助率の引上げを行うこと。
- 2 緊急を要することから、事業採択の迅速化を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

令和5年9月 日

岩見沢市議会

提出先

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣

文部科学大臣

